

経営比較分析表（令和6年度決算）

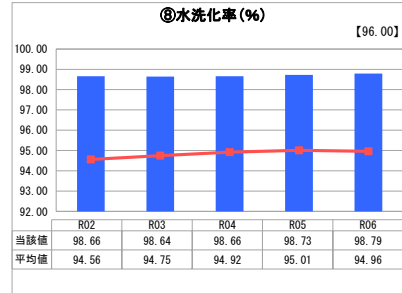
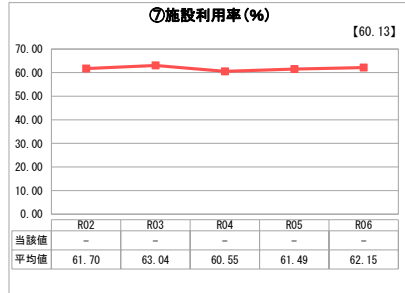
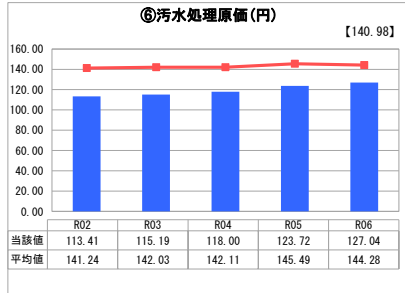
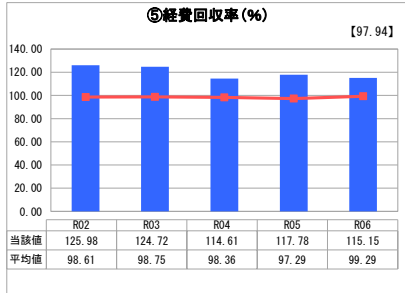
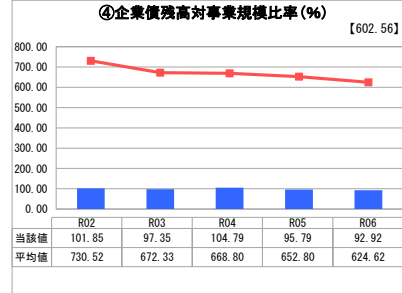
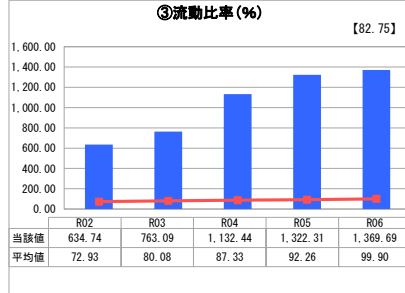
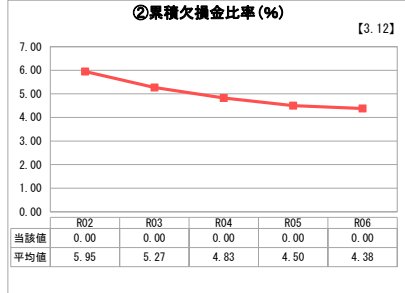
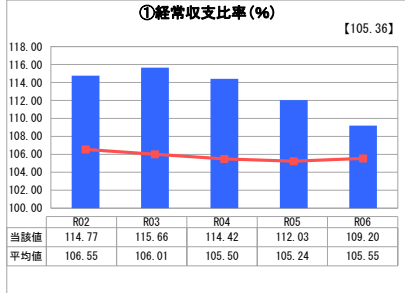
千葉県 佐倉市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Ac1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	92.74	92.12	83.92	2,472

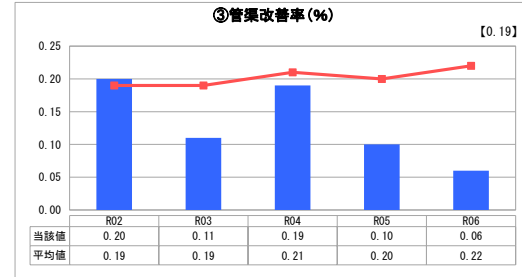
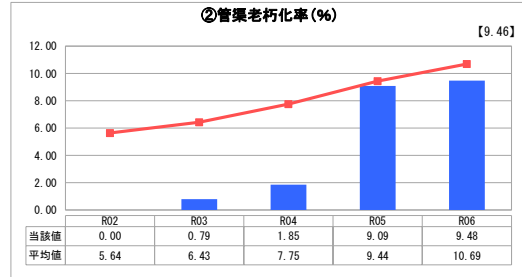
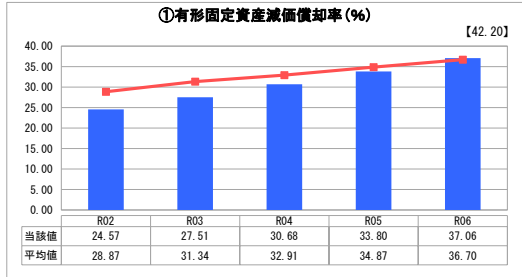
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
169,506	103.69	1,634.74
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
155,611	25.16	6,184.86

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[] 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率
100%を超え、全国平均、類似団体平均とも上回っている。
- ② 累積欠損金比率
累積欠損金の発生はない。
- ③ 流動比率
順調に上昇しており、全国平均や類似団体平均と比べて高い水準にある。今後の施設老朽化による更新工事に備えるため、現金等の流動資産を留保しておく必要がある。
- ④ 企業債残高対事業規模比率
企業債残高が少なく、全国・類似団体平均と比較し良好な数値を示している。
- ⑤ 経費回収率
100%を超え、全国平均、類似団体平均とも上回っているが、今後も物価高騰に伴い、費用が増加することが想定されるため、経費回収率が減少傾向が見込まれる。
- ⑥ 汚水処理原価
人口減少による有収水量の減少、修繕費や流域下水道維持管負担金等の増加により上昇した。
- ⑦ 施設利用率
当市は処理場を持たない。
- ⑧ 水洗化率
前年度からほぼ横ばいの状況。引き続き、佐倉市上下水道ビジョンに基づき、接続奨励などの実施により水洗化率の向上に努める。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率
昭和40～50年代にかけ最も多くの下水道管を設置していることから、上昇傾向にある。全国平均より低い数値となっているが、類似団体平均を若干上回る状況であり、今後も上昇傾向が続いていくことが見込まれる。
- ② 管渠老朽化率
宅地開発等により集中的に整備した管渠が耐用年数を迎えているため、前年度から若干の増加となり、今後も上昇が見込まれる。
- ③ 管渠改善率
当指標は、ストックマネジメント計画に基づく毎年度の更新工事の状況を反映するため大幅な変動は無く、今後も同程度で推移することが予想される。

全体総括

前年比で経常収支比率は若干悪化しているものの、100%以上を維持しており、流動比率も年々上昇している。
現時点での財務指標は良好だが、人口減少により、下水道使用料収入の減少は避けられない一方で、費用の面においては、近年の物価高騰、老朽化した下水道施設の更新に伴う経費の増加により、厳しい経営状況となることが想定される。
経営状況を注視し、適切に人材確保に務めるとともに、定期的に事業量の見直しや使用料のあり方等についての検討も図っていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。